

大阪北部地震

18日朝起きた、大阪北部を震源とする地震。大阪府で5人が亡くなりました。日本共産党はすぐ現地に入り、安全・安心のまちづくりへ総点検を呼びかけています。



高槻市・寿栄小の事故現場を視察した(右から)山下、宮本両議員、宮原威大阪府議。18日夕

安全・安心なまちへ総点検を

違法 学校ブロック塀 命奪う

高槻市では通学路を歩いていた^{じゅえい}寿栄小学校の4年生の女子児童が、倒壊したブロック塀の下敷きになって亡くなりました。このブロック塀は建築基準法違反でした。

地震当日、共産党の山下芳生参院議員、宮本岳志衆院議員らは事故現場を視察。献花台で手を合わせ、記者の取材に「教訓が生かされていない



倒壊したブロック塀

い。ブロック塀の緊急点検を実施すべき」とのべました。翌19日の衆院国土交通委員会で宮本議員が要求しました。

共産党は福祉施設・医療機関などのブロック塀の点検と安全確保も求めています。

「一部損壊」住宅に公的支援を

住宅被害の多くは公的支援のない「一部損壊」です。共産党は国や自治体の支援制度

拡充へ、全国の被災地と連帯して運動をすすめます。

共産党大阪府委が募金呼びかけ 家屋損壊の人たちなど被災者救援のため党大阪府委員会が募金を呼び掛けています。▼募金送り先=郵便振替口座 口座番号00920-8-97104 加入者名・日本共産党大阪府委員会 ※通信欄に住所、氏名、職業、および「大阪地震」

とご記入を。手数料はご負担をお願いします。

折り目

延長国会

森友・加計疑惑 徹底究明 最優先に

自民・公明による悪法強行のための国会会期の延長は許せません。同時に延長国会では国民が政治に求めることに応える必要があります。

森友・加計疑惑はどの世論調査でも「決着がついていない」が7~8割。

「加計」では、理事長が記者会見で15年2月の安倍首相との面談は

「記憶も記録もない」と言いながら「首相と会っていない」と矛盾した発言。「森友」でも共産党が示した新文書について、メディアが「やはり安倍案件」と報道。延長国会では疑惑の徹底究明を最優先にすべきです。

日本共産党

違法賭博 なぜ合法に? カジノ 廃案に

「朝日」調査 6月16~17日	▼今国会で成立	17%
	▼その必要はない	73%
「読売」調査 6月15~17日	▼今の国会で成立	21%
	▼そうは思わない	69%
	▼答えない	10%
「共同」調査 6月16~17日	▼今国会で成立	23.7%
	▼今国会成立必要ない	69.0%

カジノ実施法案—そもそも刑法で禁じられた賭博をなぜ合法にできるのか、政府は全く説明できません。それどころか石井啓一カジノ担当相(公明)は「弊害を心配する声が多い」と認めています。ギャンブル依存症を増やすだけの法案は廃案に。

近畿民報

2018年6月 No.3 (第329号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を發表しました。

日本共産党